

ら、冷凍機の運転台数を最少とする「寄せ止め
(稼働率の低い設備を集約して、稼働台数を最小

限にしながらシステムとして同等の効果を出す)
制御」を自動で行なう。

世界銅需要予測に基づく日本及び中国の 非鉄金属リサイクルの現状と展望③

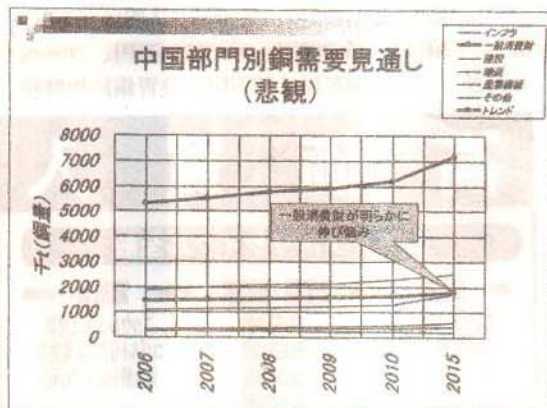
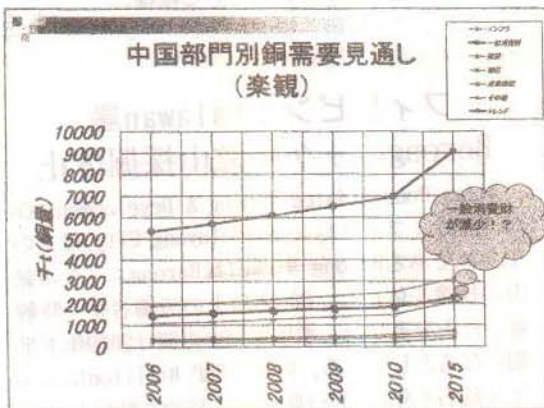
橋本健一郎氏講演要旨

部門別見通したが、楽観シナリオでは全体の約6割を占める建設、インフラが全体を引っ張る形で上昇トレンドを形成しているが、3割を占める一般消費財がやや減速すると予測されている。次は悲観シナリオだが、先ほどと同様に建設、インフラ部門が引っ張る形で上昇トレンドを形成しているが、一般消費財に関しては明らかに伸び悩みが見られる。

中国銅需要のまとめは、以下の3点となる。①全体として増加(年率5~10%)、②銅地金及びNEWスクラップ(ピカ線など)は需要増、③OLDスクラップ需要は2010年をピークに下落。

①中国は2010年までの第11次5ヵ年計画の中でGDPで年率8.5%の「安定しつつも比較的高い

成長率への移行」を計画しており中国経済は穏やかな変動かと調整期を迎える計画がされており、全体としては増加が予測される。②について、それに伴い2010年までの57兆円規模の景気対策や上海万博に向けた国家によるインフラ部門への投資による地金及びNEWスクラップ(ピカ線など)への需要が見込まれるが、③一方、一般消費財部門はいまの状況からは経済格差問題がすぐに是正されるとは考えにくいことや、世界景気の後退やインフラの未整備で地方の消費がすぐに回復するとは考えにくく、成長は限られたものになり一般消費財の材料であるOLD銅スクラップの需要も「2010年」をピークにインフラがいきわたる2015年以降までは減少の予測がされている。(続報)



故銅
市況

円安と海外銅相場高を受け更に強含みへ推移 山元「2月の最終銅建値は35万円で確定」

故銅市況は、LME銅相場高と為替の円安・ドル高を受けて国内採算が前日に引き続き値上がりしたため更に強含みとなっている。

26日入電のLME銅相場は52ドル上伸して3.302ドル、NY銅相場も3.80セント上伸し152.20セントとなった。為替は前日比0.79円、円安・ドル高の98.51円、NYカーブは45ドル高で、国内採算値が4,400円高の36万9,000円となって、関税を1万5,000円とするとプラスして38万4,000円となり現行35万円建値比3万4,000円高となった。

為替動向としては『東京外国為替市場の円相場